

EDS Kansai Chapter主催Awardのガイドライン -Japan Council Guidelineに基づく-

2008年9月24日
2009年1月30日改訂
2010年4月12日改訂
大村泰久

1: IEEE EDS Kansai Chapter IMFEDK Best Paper Award (Oral Presentation)

- ・選考基準:若手口頭講演論文のうち、もっとも先進性に優れていると判断された論文の著者に授与する。
- ・論文採択率:80%程度。
- ・授与候補者総数:20件程度の対象論文の中から1件。
- ・選考委員会構成:IMFEDK論文委員会の中で選定し、会期中の実行委員会で決定する。

2: IEEE EDS Kansai Chapter IMFEDK Student Paper Award (Poster Presentation)

- ・選考基準:在学中の学生が第一著者である投稿論文の中から、論文内容の構成、新規性、発表態度、質疑応答内容について特に優れていると判断されたものに授与する。
- ・論文採択率:80%程度。
- ・授与候補者総数:30件程度の対象論文の中から3件程度。
- ・選考委員会構成:IMFEDK実行委員会全員で討論の上、会期中に決定する。

3: IEEE EDS Kansai Chapter of the Year Award

- ・選考基準:Workshopは、前年度にIEEE主催、共催、協賛国際会議、及びIEEE刊行のデバイス技術関連論文誌に掲載された論文のうち、関西に拠点を置く大学、企業、公的研究機関の

研究者が執筆したものの中から、特に興味深い内容の優れた論文を15件程度選択して実施する。こうして選択した論文の中から技術的インパクト或いは完成度の観点からもっとも優れていると判断された研究論文に関して、当該研究を主導したと判断される著者に授与する。

- ・論文採択率:Workshop講演論文の選択実績は前年度全刊行論文数の15%~20%に相当する。
- ・授与候補者総数:1件
- ・選考委員会構成:IEEE EDS Kansai ChapterのTechnical Committee (3-4名で構成)で議論のうえ、推薦理由を明らかにしてChapter Chairに推薦し、承認を得る。

4: IEEE EDS Kansai Chapter MFSK Award

- ・選考基準:Workshopは、前年度にIEEE主催、共催、協賛国際会議、及びIEEE刊行のデバイス技術関連論文誌に掲載された論文のうち、関西に拠点を置く大学、企業、公的研究機関の研究者が執筆したものの中から、特に興味深い内容の優れた論文を15件程度選択して実施する。こうして選択した論文の中から、第一著者が刊行時点で大学在学中、もしくはpost-Dr研究員であった若手研究者(授与時点で33歳まで)に授与する。但し、Workshop当日に本人が講演した場合に限る。
- ・論文採択率:Workshop講演論文の選択実績は、前年度全刊行論文数の15%~20%に相当する。
- ・授与候補者総数:1或いは2件
- ・選考委員会構成:IEEE EDS Kansai ChapterのTechnical Committee (3-4名で構成)で議論のうえ、推薦理由を明らかにしてChapter Chairに推薦し、承認を得る。